

# 医薬翻訳サービス―医薬品開発の効率化を支援する翻訳サービス

4 関連記事  
9 面

## 製薬MTデータベース拡充を

### アジア太平洋機械翻訳協会会長 安達 久博氏に聞く



アジア太平洋機械翻訳協会(AAMT)の新たな会長に安達久博氏(サン・フレア代表執行役員、工学博士)が就任した。企業、大学の研究者を経て現在の翻訳企業と、40年以上にわたる機械翻訳(MT)に携わっているスペシャリストだ。安達会長が注目するものの一つは、日々進歩する生成AIがどのような活用がされ得るのか。今年度のセミナー、年次大会でも話題になると見ている。

――副会長から会長になった。自己紹介を。  
大学院を出たあと、東芝に就職し、総合研究所のMT研究チームに配属されたが、すぐに京都大学の長尾真氏(当協会創立者/京都大学名誉教授/故人)の教室に派遣された。当時の科学技術庁のMu(ミュー)プロジェクトにおいて、最初の実用的日英機械翻訳システムの研究、構築に携わった。故長尾先生から指導いただき機会に恵まれたほか、当時は前会長の隅田英一郎氏も日本アイ・ビー・エムから来られており、のちのちにMT分野の指導的立場になる錚々たる研究者が集まっていた。私を成長させるきっかけになった機会だった。

――副会長から会長として現在の翻訳企業で約20年と、計40年以上MTに携わってきた。今年の6月までは日本翻訳連盟(JTF)の会長も務めた。  
東芝、大学ではMTを開発する立場、翻訳企業ではMTを活用する立場の双方を経験し、今日のMTを双方から眺め、今後の発展を考えられる立場として、今回会長を引き受けた。

――会長就任の抱負を。  
これまでも副会長として会長を支えながら協会活動に携わってきた。隅田氏が会長に就任された6年前、NMT(ニューラル機械翻訳)が本格化し、翻訳精度が飛躍的に向上した。NMTはMTの天井を突き破ったと言われ、専門的な内容でもMT(機械翻訳)で翻訳した後に、翻訳者が修正を施すポストエディット(PE)の重要性は増す一方だ。これについては発注側、受注側の双方に資する取り組みを考えている。

――MTとPEの取組みについては。  
新たに「MTPE委員会」を立ち上げること決めた。翻訳のPEにおいて求められる基準、要件を定義し、テンプレートを作って、発注側、受注側双方の取り決め(要件定義)に活用するガイドライン(GL)を提案したいと考えている。エンドクライアントの方々にも入っていただいて検討を進めたい。

――MTPEの重要性は増す一方であり、発注側、受注側の双方がこのGLに沿って対応すること、田滑かつ實の良い翻訳につながることを期待している。MTPEの機運をさらに高めたい。  
――生成AIについては、どうでしょう。  
生成AIがどう活用されるのかを想定すると、翻訳に関する国際標準であるISO規格の取り扱いが課題になるのではないかと考えている。ISO規格には、品質の高い翻訳を提供するためのISO17100、PEの品質を保証するための作業概要、プロセスなどを規定したISO18587があり、両規格を改定する議論が始まっている。同時に両規格を一緒にした方が良いのではないかと議論も出ている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

## 変化するMT環境に対応を

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

目次	
P 4	……【インタビュー】 AAMT 安達会長
P 5	……【インタビュー】 MSD 木下氏
P 6~7	・アスカコーポレーション ウィズウィグ memoQ 日本特許翻訳
P 8~9	・Phrase シストラ 川村インターナショナル 翻訳テクノロジー

話になるだろう。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。

――生成AIの活用は製薬業界にも影響してくる可能性があるとの指摘があった。製薬業界におけるMT活用の課題は。  
製薬業界には、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と世界の大手製薬企業8社と共同で構築した業界向けMT翻訳のための大規模データベースという成果があり、これは実用化されている。